



2018年4月24日

各 位

会 社 名 富士ソフト株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 坂 下 智 保  
(コード番号 9749 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 内 藤 達 也  
(TEL 045-650-8811)

## 子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社ヴィンクスは、2017年5月10日に公表した業績予想を別添のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上



平成30年4月24日

各位

会社名 株式会社ヴィンクス  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉  
 (コード番号: 3784 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 常務執行役員 竹内 雅則  
 (TEL. 03-5209-7389)

### 平成30年3月期 通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想について、平成29年5月10日付当社「平成29年3月期決算短信(連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 平成30年3月期 連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 27,500	百万円 1,320	百万円 1,260	百万円 860	円 銭 48.54
今回修正(B)	25,400	1,260	1,260	750	42.33
増減額(B-A)	△2,100	△60	0	△110	
増減率(%)	△7.6	△4.5	0	△12.8	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	27,430	1,309	1,243	859	48.49

(注)当社は、平成30年2月28日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

#### 2. 平成30年3月期 個別業績予想の修正等(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 25,400	百万円 -	百万円 1,130	百万円 750	円 銭 42.33
今回修正(B)	22,400	820	840	460	25.96
増減額(B-A)	△3,000	-	△290	△290	
増減率(%)	△11.8	-	△25.7	△38.7	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	25,367	1,158	1,122	741	41.88

### 3. 修正の理由

平成30年3月期の個別の売上高につきましては、大手小売業へのソリューション提供が順調に推移しましたが、ストック型ビジネス（サービス事業）への移行に伴い受注から売上計上までの期間が長期化したことおよび、システム提供に付随する機器販売が翌期以降に期ずれした影響等により、個別の売上高は22,400百万円（当初予想比：3,000百万円減）となる見通しです。

個別の利益面につきましては、積極的な生産性向上と経費削減に努めましたが、プロダクト投資に関わる費用が一時的に増加した影響（当初予想比：427百万円増）および、ベトナムに開発センターを構築する過程で、事業再編に伴う減損処理（102百万円）をした結果、個別の経常利益は840百万円（当初予想比：290百万円減）、当期純利益は460百万円（当初予想比：290百万円減）となる見通しです。

連結につきましては、国内外の子会社の事業が好調に推移し、売上高は25,400百万円（当初予想比：2,100百万円減）、営業利益1,260百万円（当初予想比：60百万円減）、経常利益1,260百万円（当初予想比通り）、親会社株主に帰属する当期純利益750百万円（当初予想比：110百万円減）となる見通しです。

なお、配当予想については、変更はありません。

※上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上